

研究課題番号	SⅡ-1-3
研究課題名	希少鳥類に免疫抑制を引き起こす鉛汚染の実態把握及び鳥インフルエンザ発生との関連性解明
研究実施期間	平成30年度～令和3年度※
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	大沼 学

※新型コロナウイルスの影響のため、令和2年度より延長

1. 委員の指摘及び提言概要

同位体などの利用で鉛中毒の原因を特定できたこと、鉛汚染と鳥インフルエンザの複合作用が免疫抑制を引き起し、死亡リスクを高めていることを明らかにしたことは高く評価でき、次の研究への手がかりとなる事が期待される。狩猟実施地域の可視化から、鉛暴露リスクを地図化し、暴露ホットスポットを特定した成果は、行政にとって非常に有用な成果である。鉛弾規制を広めていくため、鳥インフルエンザによる死亡リスクにどれだけ付加的に影響しているのかといった定量的なリスク評価を検討する必要があるだろう。

2. 採点結果

評価ランク：S